

長崎大学 情報データ科学部 特別講演会
日時：2023年 11月 21日 (火) 13:00～14:00
場所：長崎大学文教キャンパス スカイホール
対象：学生、教職員

※事前登録は不要です。直接会場にお越しください。オンライン配信は行いません。

生成AIの登場により データサイエンスで学ぶことは 変わるのか？

樋口 知之
中央大学理工学部 教授
(前 日本統計学会会長 / 前 統計数理研究所所長)

文章、画像生成のAIの性能が著しく向上しています。プログラミング教育にも生成AIは強烈なインパクトを与えています。もはや標準的機械学習のタスクは、ほぼ自動化されつつあります。このような大きな技術変化の中、データサイエンスで何を学ぶべきなのでしょう。生活・社会の改善に資する課題の発見、データが生まれる現場を大切に
する心構え、データが語る内容に真摯に向き合う姿勢、といったむしろ原点回帰が大切になってくるでしょう。不確実性がますます高まる時代に、ぶれない柔軟な思考力を、ぜひデータサイエンスを通して身につけてもらいたいです。

講演者紹介

樋口 知之 (ひぐち ともゆき)
中央大学理工学部 教授



略歴

1989年 東京大学理学研究科博士課程修了、同時に理学博士号取得
1989年 文部省統計数理研究所予測制御研究系助手
1994年 同研究所助教授、2002年 同研究所教授
2011年 統計数理研究所長および情報・システム研究機構 理事
2019年 中央大学理工学部教授
2020年 中央大学AI・データサイエンスセンター所長
2020年 厚生労働省 卓越した技能者（現代の名工）職種：データサイエンティスト

長崎大学情報データ科学部

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

095-800-4101 | idsci_webmaster@ml.nagasaki-u.ac.jp | <https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/>